



(参考仮訳)

プレスリリース No. 07/213
即時解禁
2007年9月28日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントンDC

次期 IMF 専務理事への選出に関するドミニク・ストロスカーン氏の声明

ドミニク・ストロスカーン氏は本日、国際通貨基金 (IMF) 理事会が同氏を次期専務理事に選出したのを受け、以下の声明を発表した。

「IMF 理事会は今しがた、私をロドリゴ・デ・ラト専務理事の後任として選定した。

「この決定は私にとって喜ばしく名誉なことであり、かつ重責を感じるものである。私は、今回のきっかけを作ったジャン・クロード・ユンケル、フランスとして私の候補指名を強く支持したニコラ・サルコジ、私を信認してくれた欧州連合の閣僚達、さらに広くは私への支持を表明してくれたあらゆる方々に謝意を表したい。

「私に対する非常に幅広い支持、とりわけ新興市場諸国と低所得諸国からの支持は、私の職務遂行に高い正当性を与えるものであり、IMF が経済成長と雇用を推進し国際金融の安定に尽力する上で必要な改革を、遅延なく進めていく決意である。」